



平成30年度岐阜県移住促進団体活動推進事業（恵那市上矢作町）

多世代協創型の山里体験を通じた 移住・定住拠点整備等事業

2019.2.20 事業報告会

なつかしい未来の会
安藤由美子

「なつかしい未来の会」とは？

なつかしい未来の会は、上矢作の豊かな自然と伝統的な里山暮らしを守り、里山文化を継承する活動を通して、人と自然、人と人との支え合って暮らし続けられる幸せな地域づくりを実践することを目的とする。

- (1) 里山文化継承活動
- (2) 森林の環境整備活動
- (3) 移住定住促進活動
- (4) 里山暮らし情報発信と交流活動

「なつかしい未来の会」団体会則より



これまでの歩み



- 2014年 11月、上矢作の森づくりを語るまい会開催。
- 2015年 2月21日、NPO「なつかしい未来の会」を発足。製材体験、木馬搬出体験、間伐体験などの体験企画をスタート。
- 2016年 横道区の大船寺跡に敷地を借り、山里のコミュニティハウス建設準備を開始。
- 2017年 クラウドファンディングと町内合わせ100名近い方のご支援を受けて建前と屋根張りが実現。特大のピザ石窯も完成。初のテレビ取材。
- 2018年 9月に里山コンサートとマルシェ、11月に初心者向けのチェーンソー間伐講習会を初開催。町内の空き家・仕事調査を実施し、移住定住促進のための交流企画を実施。



事業の目的および内容

1. 目的－「交流⇒移住促進」の中山間地域型モデル事業実施

中山間地域において、継続かつ安定的な移住者の確保に向けて、地域住民が主体となった交流機会の創出や移住者向けの住環境の整備などの取組みが必要となってきた。本事業では山里体験型ワークショップを通じて、交流と定住環境の向上を目的とした移住・定住拠点を整備するとともに、移住希望者への居住可能な空き家に関する情報提供などを行うモデル業務を実施する。

2. 内容と方法

- ① 「交流拠点施設」「森の遊び場」整備の「山里体験ワークショップ」・・・月1回
- ② 活用可能空き家・就業可能事業所調査・移住希望マッチング機会設定・・・年2回
- ③ WEB、広報誌、パンフレット等による情報発信・・・随時

事業プロセス

年月	平成31年							平成31年
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
①家づくり体験		7/8～床張り 準備棟梁作業	7/30、8/1 床張り	9/30外壁はり ⇒延期	外壁はり ⇒未定			
②遊び場づくり体験		7/22遊び場		9/9遊び場				
③山里体験			8/15川漁体験	9/9柿渋づくり 9/24五平&栗 きんとん講座	10/8 10/18 野草講座	11/23.24 間伐講習会	12/22 門松・しめ縄	1/13どんど もちつき
④空き家対策	6/28 地域自治区説明 (事前調査)	7/10 自治連事業説明 (事前調査)	8/9 区会挨拶 お盆 家主交渉①⇒延期		推進員・子育て 定住チーム ヒアリング	調査	家主交渉	マッチング
⑤移住者マッチング			帰省者交流 8/11ピザ会	9/2 地域交流				地域案内 交流会
⑥情報発信	ライン@導入	広報誌①	交流会チラシ	広報②			広報③	パンフレット制作
⑦リピーター確保						ポストカード制作		2019年度会 員募集開始
⑧事業運営	運営会議	運営会議	運営会議	運営会議	中間報告 運営会議	運営会議	運営会議	完了報告書 運営会議

ソフト型
拠点整備

ハード的
マッチング

ファンづくり
& 持続化

山里体験・交流拠点づくり



山の整備をして木を製材し、コミュニティハウスを建築中。（6月の様子）



間伐材を薪として活用しながら木づかいに親しむ「森のピザ窯」



気分はハイジ。山里の空に飛び出すような「森のブランコ」



気分はハイジ。山里の空に飛び出すような「森のブランコ」



床板が貼れて、屋内でも活動できるようになりました！雨でも安心！！



壁は防水シートまで。台風で延期になってしまい続きは来年度。



山水のプールとタイヤブランコが、広場が増えました。一日中、夢中！！



山里体験企画



7/22
ボクらの遊び場プロジェクト！



8/11 ふるさとへおかえり！
草刈り&ピザ交流会



8/15 里人限定企画！
上矢作の川漁体験！！



9/2 森の小さなマーケット
& 里山コンサート



9/9 柿渋しぼり体験
石窯ピザ試作会



9/24 つくろう恵那の味！
五平餅&栗きんとん



10/8, 18 秋の野草さんぽ！
秋の野草料理とお手当講座



11/23, 24 初心者向け
チェーンソー間伐講習会



12/22 門松&しめ縄づくり
森のクリスマス会



1/13 どんど焼き&地域めぐり
冬の上矢作あるく・みる・きく

山里体験企画への参加状況

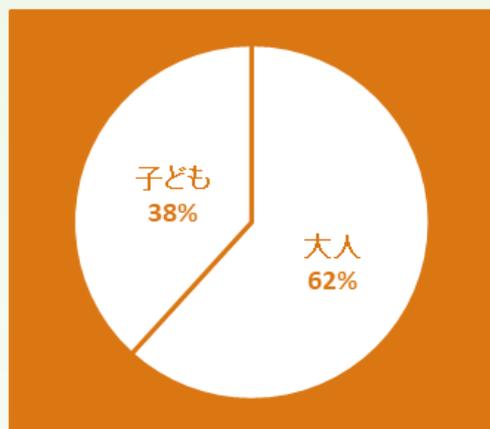
	開催日	企画名	参加費	当日参加状況(人数)			人気	子ども率		大人男女比		地域別				再訪者率	
				総人数	スタッフ	参加者		大人	子ども	男	女	町内	市内	県内	県外	新規	再訪
1	7月22日	ボクらの遊び場プロジェクト!	小学生以上 500円	19	8	11		5	6	2	3	0	0	11	0	2	9
2	8月11日	ふるさとへ「おかえり！」 草刈&ピザづくり交流会	大人 1,000円	21	6	15	③	12	3	3	9	5	2	2	6	10	5
3	8月15日	上矢作の川漁体験企画	里人限定 お気持ち制	10	5	5	-	4	1	1	2	0	1	3	1	4	1
4	9月2日	森の小さなマーケット & 里山コンサート	入場無料 飲食・物販	93	8	85	-	/	/	/	/	/	/	/	/	70	15
5	9月9日	山里体験! 柿渋しぼりと石窯ピザ	小学生以上 500円	18	9	9		3	6	0	3	3	6	0	0	3	6
6	9月24日	つくろう恵那の味! 五平餅と栗きんとん	大人1,300円 子ども800円	30	8	22	①	12	10	4	8	0	0	13	9	9	13
7	10月8日	秋の野草さんば 秋の野草料理とお手当講座	一般3,000円 会員2,000円	17	8	9	②	6	3	1	8	0	0	5	4	6	3
8	10月18日	秋の野草さんば 秋の野草料理とお手当講座	一般3,000円 会員2,000円	23	6	17		11	6	3	8	0	6	8	3	9	8
9	11月23, 24日	初心者向け チェーンソー間伐講習会	講座3,000円 交流2,000円	11	5	6	-	6	0	6	0	3	0	3	0	6	0
10	12月22日	門松&しめ縄づくり 石窯ピザでクリスマス会	門松2,500円 しめ縄1,000円 ピザ500円/人	23	7	16		8	8	3	5	0	8	8	0	3	13
11	1月13日	どんど焼き&地域めぐり 冬の上矢作あるく・みる・きく	小学生以上 500円	10	5	5		4	1	1	3	3	0	2	0	4	1
総計(人)				275	75	200		71	44	24	49	14	23	55	23	126	74
パーセンテージ					27%	73%		62%	38%	33%	67%	12%	20%	48%	20%	63%	37%

山里体験企画への参加状況分析

【グラフ①】地域別参加者内訳



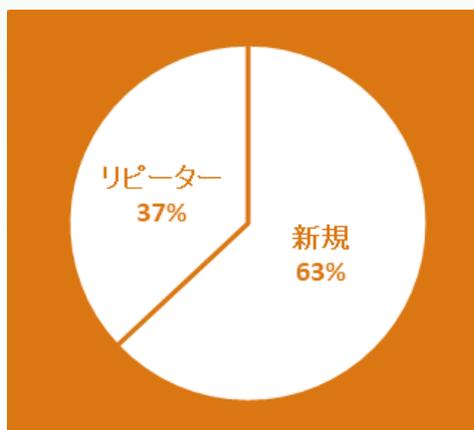
【グラフ②】子ども参加率



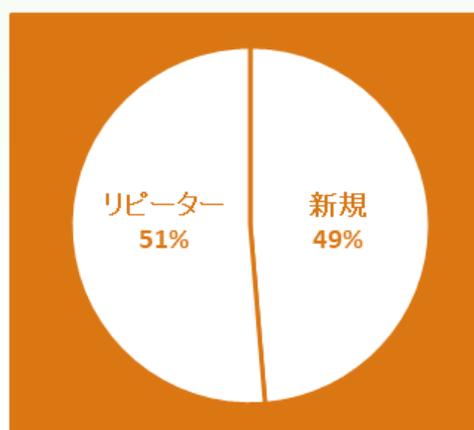
【グラフ③】成人参加者の男女比率



【グラフ④】コンサート含む新規参加比率



【グラフ⑤】通常イベントのみのリピート率



1. 県外参加者が2割のみ
⇒大きな課題！

2. 子ども4割=子連れ参加者が多い

3. 女性7割
⇒プログラムのターゲット層は合っている！

4. 半数がリピーター、半数が新規
⇒ファンづくりと新規拡大の両方が成立している

※つまり、「県外の移住希望者」に参加を促す方法が、最大の課題となっている。

活用可能空き家の調査



1. 目的：上矢作町内の「活用可能空き家」につながる「交渉可能空き家」を抽出すること

2. 期間：平成30年11月～平成31年1月15日

3. 対象：町内10区中の7地区について、長年住み近隣の方の状況に詳しく協力的な方

4. 内容および方法：協力者匿名を条件としたヒアリング調査で空き家・独居の状況を聞く

5. 結果

- ・2件の空き家についてマッチング可能になった
- ・現在の最新の空き家75件の存在を確認
- ・19件について個別交渉ルートを把握
- ・19件の中に即入居可能な空き家が2件を確認
- ・7件について交渉開始

(※) その他、空き家についての家主側の悩みや課題を聞き出すことができた

2019.1.15現在									
	地区名	調査時期	把握数	交渉済	交渉中	交渉可	世話人把握	所有者把握	要追加調査
1	木の実区	2019年1月	3	0	0	3	3	3	0
2	本郷区	2019年1月	29	1	1	5	10	29	19
3	飯田洞区	2019年1月	7	0	2	2	5	7	2
4	横道区	2018年11月	24	1	2	7	15	22	9
5	達原区	2018年12月	3	0	0	0	1	3	3
6	小笹原区	2018年12月	3	0	1	1	2	3	1
7	島区	2018年11月	6	0	1	1	4	6	2
8	漆原区	次年度							
9	下区	次年度							
10	小田子区	次年度							
町内合計件数			75	2	7	19	40	73	36

就業可能事業所の調査

2019.1.15現在

	事業所名	職種	勤務形態	要件	賃金目安	備考
1	A病院	医師・看護師	正規・臨時ほか	要資格	規定により	宿舍あり、直接相談
2	B組合	現場作業員	応相談		規定により	緑のジョブステーション
3	C林業	現場作業員	応相談		規定により	緑のジョブステーション
4	D工務店	現場作業員	応相談		規定により	ハローワーク
5	E土木	施工管理者	フルタイム	要資格	規定により	ハローワーク
6	F苑	介護職	応相談		990円	直接相談
7	G協議会	介護・家事	登録ヘルパー		1,000円	直接相談
8	H駅	接客・清掃等	パートタイム他		900円程度	直接相談
9	恵那市	病院清掃他	臨時職員		規定により	ハローワーク
10	町内トマト農園	農業	研修生		規定により	岐阜県の研修制度あり

1. 目的：上矢作町内の「就業可能事業所」を抽出し移住希望者に紹介できる準備をすること

2. 期間：平成30年11月～平成31年1月15日

3. 対象：町内で人を雇用している事業所

4. 内容および方法：各事業所を訪問ヒアリング

5. 結果

・町内で就労可能な事業所等に関する情報を10件確保。土木、林業、医療福祉、サービス、農業分野でフルタイム・パートタイム両方の求人があることを確認できた。

・現在町内の林業、農業の事業体に就労している方の中には、町外、市外、遠くは県外から通勤している方もあり、町内に居住可能な「家」と毎日の「食事を購入できるコンビニ的な商店」を必要としていることが把握できた。

成果のまとめ

(1) 交流拠点整備と山里体験企画

- ・雨天時でも活動可能な屋内スペースが完成し、遊び場に遊具が増えて子連れで集える拠点となった。
- ・子連れ女性を中心に年間200名の企画への参加があり、リピーターも拡大中。
- ・人気のある体験プログラムができ、プログラムを通じて山仕事の担い手など人材育成にも貢献。

(2) 空き家・仕事調査・マッチング

- ・町内に75件の空き家を確認、2件の家主交渉完了、7件が交渉中となり、19件が今後交渉に着手可能に。
- ・町内に10件の紹介可能な就業先情報を把握。移住相談窓口と情報連携へ。
- ・マッチング企画を3回企画実施。移住希望者は参加なかったが地域の受け入れ姿勢が向上。

(3) 情報発信その他

- ・紙媒体からWEB媒体まで多様な情報発信を実施。徐々に認知されてきている。
- ・パンフレットの完成で、継続的なPRが可能になった。

(4) 山里のナリワイづくりについて

- ・プログラムを通じて門松・しめ縄・桑の葉茶・野草茶・梅干しなど、暮らしの傍らで地域の資源を活かす小さなナリワイが生まれ始めた。



今後の課題と展望

① 交流拠点整備と山里体験企画

- ・「外壁張り」「内壁張り」
- ・「ぎふ木育広場」準備
- ・ソーラーパネル設置
- ・山へのイノシシ・シカ柵設置
- ・次年度会員を募集し
- ・参加費を見直し、スタッフ育成
- ・「山の担い手」育成
- ・人気プログラムを通年化。

② 空き家・仕事調査・マッチング

- ・家主交渉・マッチング方法の研修
- ・個別課題解決のための事例検討会
- ・残り3地区ヒアリング調査
- ・「上矢作移住定住小部会」への報告
- ・「就業可能事業所」情報アップデート
- ・自治会等の地域情報を取りまとめ
- ・「地域紹介パンフレット」を作成
- ・地域行事を通じたマッチング

③ 情報発信その他

- ・「移住相談もできる山里交流拠点」化
- ・「移住希望者の求める情報を、移住希望者が求めるルートで発信するには？」
- ・「早めの企画・早めの発信」
- ・「対話型企画・適時発信」
- ・「おへマガ」への事前記事の投稿を継続
- ・広報誌発行の継続・WEB媒体更新
- ・相談窓口やセミナー等への参加

④ 山里のナリワイづくりについて

- ・試作商品の本格的生産販売準備
- ・薪事業の計画および関係者調整
- ・地域内の暮らし還元型で小さな経済循環を生み出すための研修的体験プログラムの整備

※3月の事務局会議で方針を事業計画に落とし込み、4月の団体の総会において提案して会員の承認を得て、関係各所と調整



他地域での応用にあたって

- ① 地元中核組織やキーパーソンとの事前調整（事業構想前から）
- ② ターゲット層に確実にリーチできる情報伝達ルートの事前選定
（発信型団体・プロジェクトとの連携も視野に）
- ③ 事業担当者（担い手）のフォローアップ体制確保（主担当者複数制）
- ④ 天候等による変更に対応できる予備日程の設定
（他事業との関連も考慮に入れて）
- ⑤ 現場担当者の確保と、リスクマネジメント事項の共有
- ⑥ 多世代の交流機会を意図的に設定
- ⑦ 講師とは事業主担当者が事業の願いやねらいを踏まえて丁寧に調整する
- ⑧ 人件費も含めた事業費を検討し、自立可能な自己資金計画を立てる
- ⑨ 1事業で複合的な効果を生む方法を考える
（交流・移住・定住・就労・人材育成など多角的に）



さいごに

えなの山里体験・交流ひろば



2019年度も「なつかしい未来の会」は、継続的に上矢作の豊かな自然と伝統的な里山暮らしを守り、里山文化を継承する活動を通して、人と自然、人と人々が支え合って暮らし続けられる幸せな地域づくりを推進していきます。県内各地の皆様と学び合いながら、中山間地域の魅力を伝え、岐阜県への移住定住促進に力を入れ続けていきます。

- (1) 賛助会員として会の活動に参加・協賛支援
- (2) 企画・イベントへの参加で活動を応援
- (3) Web情報のシェアや、パンフレットにてご紹介
- (4) 視察・連携活動など、どうぞお声がけください

上記のような方法で、ご参加、ご指導、ご支援、連携いただければ幸いです。何卒よろしくお願いいたします。

ありがとうございました！



「里人」募集中！

「なつみの里」の里人さんとして、趣旨や活動に賛同して、運営面でも一緒に活動して下さる方（正会員）、イベント等への参加や取り組みへの応援をして下さる方（賛助会員）を募集しています。

ご寄付やご協賛も、大変ありがとうございます。どうぞ応援よろしくお願いいたします。



正会員	年会費	1000円
賛助会員（個人）	年会費	3000円
賛助会員（家族）	年会費	5000円

▲QRコードのお申込みフォームからご連絡ください。



【問合せ】「なつかしい未来の会」事務局

mail: natsukashiimirai2015@gmail.com